

平成27年度 東京ベイ・浦安市川医療センター 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. 年齢階級別退院患者数
2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）
3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数
4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等
5. 脳梗塞のICD10別患者数等
6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）
7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	1279	322	315	432	712	849	1471	1871	1452	377

当センターの役割として「高齢化への対応」「小児医療」「救急医療」「周産期医療」を挙げていることと病診連携を開院当時から強化していることにより、退院（入院）患者層においても0歳～9歳及び70歳以上も全年齢のなかで割合が高くなっている。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

■内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
040080x099x0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎（15歳以上）手術なし 手術・処置等2なし	180	11.38	14.34	3.33	73.64	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	108	17.33	21.69	6.48	84.62	
110310xx99xxxx	腎臓または尿路の感染症 手術なし	99	12.49	12.60	5.05	75.18	

平均在院日数は全体的に短めになっています。呼吸器疾患が多くなっており、全国の医療機関と同様の傾向になっており、肺炎患者が多いため平均年齢も高めとなっています。総合内科では多臓器に渡る疾患をお持ちの方を臓器横断的なケアが必要な患者さんを、必要に応じて専門科医師と協力して診療にあたっています。

■消化器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
060140xx97x00x	胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄（穿孔を伴わないもの）その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	70	8.41	11.00	1.43	62.73	
060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 副傷病なし	38	11.11	10.93	2.63	69.16	

	し					
060350xx99x0xx	急性膵炎 手術なし 手術・処置等2なし	36	9.11	12.27	2.78	51.47

胃・十二指腸の疾患が多くを占めています。上部・下部の内視鏡検査も積極的に行っており、上下部消化管出血に対する緊急内視鏡や、急性胆管炎に対する緊急内視鏡的ドレナージなども迅速に対応できる体制を整えています。

■小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040100xxxxx00x	喘息 手術・処置等2なし 副傷病なし	183	5.49	6.31	1.64	4.30	
040080x1xxx0xx	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 (15歳未満) 手術・処置等2なし	164	5.39	5.72	1.22	2.14	
140010x199x00x	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障 害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	45	6.62	6.17	2.22	0.02	

内科同様、呼吸器疾患が上位を占めています。病院の方針として小児救急の積極的な受入れを行っています。呼吸器疾患は年齢的にも小さなお子さんが多く、この年齢層での重要な疾患ということが伺え、当センターの役割の大切さが分かります。また、感染症、アレルギー疾患、痙攣性疾患などあらゆる分野の入院患者さんを診療しています。

■外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
060150xx03xx0x	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わ ないもの等 副傷病なし	109	3.91	5.56	0.00	32.91	
060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	59	6.10	9.17	0.00	59.71	
060330xx02xxxx	胆嚢疾患(胆嚢結石など) 腹腔鏡下胆嚢 摘出術等	45	5.51	6.96	0.00	53.22	

当センターの外科疾患は虫垂炎が多くを占めていますが、消化器、乳腺・甲状腺、呼吸器外科、末梢血管、外傷及び熱傷にも対応しています。

疾患の多くは消化器に対応しておりますが、消化器のみならず肺、乳腺、甲状腺、ヘルニア、末梢血管等、様々な分野に対応しています。

■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入 術 肩、股等	104	29.73	28.70	21.15	80.15	
160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 副傷病なし	68	4.34	5.70	0.00	46.56	
	肘関節周辺の骨折・脱臼 手術あり 副						

160740xx97xx0x	傷病なし	45	3.76	5.41	0.00	22.44
----------------	------	----	------	------	------	-------

股関節部の骨折症例が大きな割合を占めています。部位から見て平均年齢も高齢者が多いといえます。高齢の患者さんに対しては積極的に骨粗鬆症の評価を行い、骨粗鬆症の治療を開始しています。

また、脊椎疾患、手の外科疾患、膝・足関節疾患に関する変形性疾患に対しても専門医師が対応しています。

■脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	69	8.97	10.02	4.35	66.77	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	69	6.49	7.52	2.90	44.46	
010060x099030x	脳梗塞（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 3あり 副傷病なし	55	14.96	18.08	21.82	65.51	

外傷系の症例が要手術患者と手術を行わない患者が上位二つを占めていますが、脳卒中や神経外傷などは治療に急がなければならない場合も多いため、ほぼすべての治療が当センターですみやかに進めるように準備しています。また、脳梗塞に対するtPA静注療法も24時間いつでも施行可能です。

■心臓血管外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050080xx01010x	弁膜症（連合弁膜症を含む。） 口ス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等1なし 手術・処置等2 1あり 副傷病なし	49	12.94	25.69	0.00	61.57	
050161xx97x10x	解離性大動脈瘤 その他の手術あり 手術・処置等2 1あり 副傷病なし	28	18.21	29.80	12.29	68.00	
050050xx0111xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 心室瘤切除術（梗塞切除を含む。） 単独のもの等 手術・処置等1 1,2あり 手術・処置等2 1あり	28	17.71	28.59	3.57	69.07	

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁植込み術や大動脈瘤に対するステントグラフト手術、狭心症に対するオフポンプ冠動脈バイパス術などを積極的に行っています。

■小児外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
140590xx97xxxx	停留精巣 手術あり	77	3.78	3.32	0.00	2.45	
	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴						

060150xx03xx0x	わなないもの等 副傷病なし	21	8.76	5.56	0.00	10.86	
11022xxx04xx0x	男性生殖器疾患 包茎手術 副傷病なし	16	11.13	3.64	0.00	7.13	

停留精巣が小児外科の症例の多くを占めています。二次医療圏内でも標榜している医療機関は少なく、都内からの受診患者も増えています。

小児の様々な病気に対応可能であり、頸部腫瘍、漏斗胸、胆道疾患、鼠径ヘルニア、停留精巣、包茎、急性虫垂炎などに対応しています。

■産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術（腔式を含む。） 腹腔鏡によるもの等	42	7.02	6.50	2.38	41.48	
120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	23	6.52	6.34	0.00	39.91	
120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	22	8.41	10.18	0.00	44.82	

各部位の良性腫瘍が上位三つを占めています。

産科領域では、低リスクの正常妊娠・分娩から中～高リスクの合併症妊娠、産科異常の周産期管理を行っています。

■リハビリテーション科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
010069xx99000x	脳卒中の続発症 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	2	22.00	10.85	0.00	67.50	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	1	58.00	7.52	0.00	80.00	
050080xx0112xx	弁膜症（連合弁膜症を含む。） 口ス手術（自己肺動脈弁組織による大動脈基部置換術）等 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2 2あり	1	41.00	52.78	0.00	85.00	

主に脳神経外科を扱っていますが、心大血管術後、運動器疾患、循環器疾患、外科術後、呼吸器疾患等様々な疾患に対応しています。

■泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
110420xx97xx0x	水腎症（その他） その他の手術あり 副傷病なし	2	3.50	5.49	50.00	49.00	
110290xx99x00x	急性腎不全 手術なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	1	19.00	14.24	0.00	70.00	
110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等1なし 手術・処置等	1	7.00	7.59	0.00	76.00	

2なし

血尿や排尿障害などの原因診断を行っています。近隣の泌尿器開業医、病院と良好な関係のもと地域医療連携を積極的に行っています。

■循環器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1,2あり 手術・処置等2なし	180	2.67	4.87	0.00	68.66	
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2なし 副傷病なし	106	2.36	3.07	0.00	65.99	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	92	13.05	18.30	1.09	78.51	

循環器内科の最も多い症例は狭心症などに対する心臓カテーテル治療のための入院、および治療前、治療後の心臓カテーテル検査のための入院で、合わせて全症例数の多くを占めます。虚血性心疾患はカテーテル治療学会専門による体に負担の少ない1泊2日の入院治療を原則としています。

■腎臓内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	47	13.21	13.64	4.26	61.81	
100070xxxxxxxx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	39	17.36	15.35	2.56	62.03	
100070xxxxxxxx	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	39	17.36	15.35	2.56	62.03	

慢性腎疾患、糖尿病を中心に診療を行っています。腎不全精査目的の経皮的腎生検、IgA腎症など慢性腎炎の免疫抑制療法、急性腎不全に対する緊急透析、電解質異常の精査等を行っています。

糖尿病は、糖尿病教室、教育入院、インスリン導入、妊娠糖尿病の管理を行っています。

■血液腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
130110x1xxx4xx	出血性疾患（その他）（16歳未満） 手術・処置等2 4あり	3	14.00	8.05	0.00	4.00	
060270xx99x0xx	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎 手術なし 手術・処置等2なし	1	32.00	13.24	0.00	0.00	
	急性白血病 手術あり 手術・処置等2 2						

130010xx97x2xx	あり	1	171.00	43.59	0.00	6.00
----------------	----	---	--------	-------	------	------

特発性血小板減少紫斑病を主として治療を行っていましたが、現在、専門医が不在のため診療科としては休診状態となっています。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	6	7	14	18	22	7	1	6,7
大腸癌	11	21	26	18	26	11	1	6,7
乳癌	18	18	7	5	6	2	1	6,7
肺癌	12	1	3	26	53	3	1	6,7
肝癌	0	2	3	4	9	6	1	6,7

※ 1：UICC TNM分類， 2：癌取扱い規約

当センターのがん患者については、症的にはまだ多くはありませんが、その中でも乳がんがトップとなっています。昨年は標榜科目に呼吸器内科を新たに入れ、肺癌治療に力を入れており、昨年は第2位となっています。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
重症度 0	40	7.73	52.20
重症度 1	67	12.88	78.22
重症度 2	33	15.97	84.91
重症度 3	16	11.44	81.75
重症度 4	3	16.67	82.00
重症度 5	3	33.00	76.33
不明	3	18.00	78.33

当センターの肺炎患者は高齢者が多く、年齢に比例して重症度が高くなる傾向にあります。

脳梗塞のICD10別患者数等

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	46	6.30	71.04	0.00
		その他	7	5.71	61.14	0.00
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00
I63\$	脳梗塞	3日以内	199	21.01	72.53	20.52
		その他	30	21.63	70.87	3.06

I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	8	37.38	70.38	8.57
		その他	27	11.70	69.74	5.71
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	4	24.50	61.25	14.29
		その他	3	6.33	63.33	0.00
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	3	5.33	31.33	33.33
I679	脳血管疾患，詳細不明	3日以内	0	0.00	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00	0.00

当センターの脳神経外科では、脳梗塞の件数が多くなっています。

その脳梗塞治療では血栓溶解療法（t-PA治療）を行うことができ、(医師により適応と判断された場合)、脳神経外科の医師が24時間オンコール体制を敷いており、いつでも救急対応が可能であり、積極的に救急患者の受け入れを行っています。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

■消化器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	232	0.01	1.03	0.00	64.36	
K688	胆道ステント留置術	78	0.77	15.41	2.56	74.10	
K654	内視鏡的消化管止血術	80	4.32	13.02	4.23	67.08	

消化器内科では、内視鏡手術が大半を占めており、中でも大腸ポリープ・腫瘍に対する粘膜切除術が多くなっています。これは地域の先生方から多数のご紹介をいただいている結果です。安全・確実・苦痛のない内視鏡検査を常に心がけています。また、救急患者さんが多い関係で、急性胆管炎に対するドレナージや消化管止血術を多数行っております。ERCP関連手技としては、総胆管結石に対する截石術や悪性狭窄に対するステント留置なども数多く行っておりますし、術後再建腸管においてもダブルバルーン内視鏡を用いて対応しております。その他、上位3位には入っていませんが、食道・胃・大腸早期癌に対するESDも積極的に数多く行っております。

■小児科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7151	腸重積症整復術 非観血的なもの	2	0.00	3.00	0.00	1.00	
K9132	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの	2	0.00	0.50	100.00	0.00	
K9131	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの	2	0.00	5.00	50.00	0.00	

腸重積患者に対する、整復術を多く行っております。

■外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	112	0.32	2.70	0.00	32.90	

K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	82	1.40	4.23	0.00	53.91	
K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	33	0.88	3.03	0.00	66.76	

深夜・休日を問わず緊急の疾患を受け入れております。他院からの虫垂炎や胆のう炎の手術目的の紹介も多数占めております。

■整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	90	3.09	18.13	12.22	66.06	
K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	59	1.58	6.71	0.00	43.92	
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	45	3.38	25.87	24.44	80.38	

整形外科では高齢者の大腿骨近位部骨折、手関節骨折および、小児の前腕部骨折に対する手術の頻度が高いです。高齢者や小児に対しても安全な手術を心がけております。

■脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫洗浄, 除去術 (穿頭)	45	0.36	9.00	8.89	73.87	
K1643	頭蓋内血腫除去術 (開頭) (脳内)	22	1.32	33.14	72.73	69.09	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	14	9.93	17.64	21.43	75.71	

脳神経外科の手術は、慢性硬膜下血腫を代表とする外傷に対する手術と、脳出血や頸動脈狭窄などの脳卒中に関連する手術が多くを占めています。

■心臓血管外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5551	弁置換術 1弁のもの	55	5.75	16.42	8.33	70.58	
K5612	ステントグラフト内挿術 腹部大動脈	27	3.72	7.84	0.00	75.68	
K5522	冠動脈, 大動脈バイパス移植術 (2吻合以上)	27	6.04	13.92	8.00	66.52	

当院心臓血管外科は心臓・大動脈手術全般を行っていますが、なかでも弁膜症手術が多いことが特徴です。弁置換術の多くは大動脈弁狭窄症の症例です。2016年1月からはカテーテルによる治療 (TAVI; 『経カテーテル大動脈弁植込み術』) も行っており、これまで手術が困難であった超高齢患者さんや体力の低下した患者さんにも治療を行えるようになりました。自己の弁を残す弁形成術は、僧帽弁閉鎖不全症 (逆流症) のほとんどの患者さんに行っています。胸骨を切らない低侵襲アプローチによる僧帽弁形成術は、当科がもっとも得意とする手術であり、全国から患者さんがいらっしゃいます。また、大動脈弁閉鎖不全症 (逆流症) に対しても弁形成術を行っています。緊急手術や透析患者さんなどハイリスク症例もお断りすることなく常に迅速にお受けしています。

■小児外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K836	停留精巣固定術	73	1.15	1.60	0.00	2.97	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 (両側)	59	1.25	1.47	0.00	4.25	
K718-	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わない						

21	もの		21	0.38	7.38	0.00	10.86
----	----	--	----	------	------	------	-------

小児外科では腹腔鏡下による鼠径ヘルニア根治術、虫垂切除術を積極的に行っております。また停留精巣に関しても、精巣固定術を多数行っております。

■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8882	子宮附属器腫瘍摘出術（両）（腹腔鏡）	51	1.10	4.96	1.96	41.35	
K867	子宮頸部（腔部）切除術	23	0.83	1.17	0.00	39.48	
K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	20	1.00	4.70	0.00	45.85	

産婦人科は手術が低侵襲・短期入院にできる腹腔鏡下手術・子宮鏡下手術数を拡大しています。巨大な例を除き子宮筋腫、卵巣嚢腫、卵巣良性腫瘍は大半がお腹を大きく切らずに済む腹腔鏡下手術で行っています。子宮内膜ポリープ、粘膜下子宮筋腫(突出型)に対しては子宮鏡下経頸管的切除術を行っています。子宮がん検診で要精査となった方の二次検診・精密検査をお受けし、診断と治療を兼ねた子宮腔部円錐切除術も必要な方に行っています。

■眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K2821□	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	280	0.00	0.43	0.00	72.39	

当センターでは、ほぼ100%に近い形で白内障の手術となっています。

■泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	1	0.00	3.00	100.00	54.00	
K783-3	経尿道的尿管ステント抜去術	1	0.00	2.00	0.00	44.00	
K7981	膀胱結石摘出術（経尿道的手術）	1	0.00	2.00	0.00	71.00	

尿路感染症を伴った水腎症や、悪性腫瘍(尿路悪性腫瘍以外も含む)に伴った水腎症に対して、尿管ステントの留置や交換を行っています。

その他に経尿道的切除術を行っています。

■循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	175	1.33	2.27	0.00	69.67	
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術 急性心筋梗塞に対するもの	76	0.08	12.78	2.63	66.46	
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	66	0.56	2.52	0.00	70.12	

循環器内科では、狭心症・心筋梗塞に対する治療として、心血管インターベンション専門医による身体に負担の少ない経皮的冠動脈ステント留置術を数多く手掛けております。また、足などの末梢動脈の詰まりに対して、バルーン拡張術やス

テント留置術などのカテーテル治療も積極的に行っております。

■腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	33	1.21	5.94	3.03	63.52	
K610-3	内シャント設置術	15	14.87	30.93	13.33	65.33	
K654	内視鏡的消化管止血術	3	3.00	41.67	0.00	69.00	

当科では、循環器内科と協力してシャント関連の手術を多く行っております。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.00
		異なる	1	0.01
180010	敗血症	同一	61	0.67
		異なる	43	0.47
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.00
		異なる	1	0.01
180040	手術・処置等の合併症	同一	79	0.87
		異なる	10	0.11

当センターは急性期疾患での、ご高齢者の方の入院が増加傾向にあります。

来院時からの「ショック状態」の患者様や、二次性疾患として「肺炎」や「尿路感染症」・「胆管炎」等の契機からの「敗血症」を発症し、多く治療を行っております。

また手術後や患者様の体内に人工器具を挿入されている方々の合併症疾患も、多数受け入れをし治療を行っております。